

令和4年度事業計画（案）、収支予算（案）承認の件

令和4年度事業計画

（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

2021年を振り返りますと、まさに新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。

造園業界にとって最もビッグイベントであった「第37回全国都市緑化ひろしまフェア」は、コロナ禍の直撃を受け、フェアそのものは開催しましたが、イベントが縮小または中止となりました。また、毎年恒例となっていた各地区行事の開催が困難となり、オンラインイベントなどへと形態を変え、新規分野の開拓や緑化行政に対する協力を打ち出すべきイベント・講演会がなくなったことは、大きな痛手となりました。

しかし、コロナ禍において、住民の心身の健全性を守るインフラとして、公園緑地の重要性が再認識されたこの機会に、みどりの多様な価値を踏まえ、公園緑地の更なる拡大と質の向上の推進を行い、今後のアフターコロナの世界で造園工事業を展開していくために、静岡県支部が対応可能な分野の、創注に向けた具体的な実績を積み上げるべく以下の事業を計画します。

1、造園工事業の新規分野の開拓

- ・造園の特性を生かした森林環境整備事業への参加支援
- ・緑地管理業務の受託にむけた技術・営業支援

2、公園緑化行政に対する協力

- ・美しいしずおか景観推進協議会事業への参加
- ・全国都市緑化くまもとフェア（R3年度）、北海道フェア（R4年度）への参加

3、研修会等の実施

- ・静岡県都市緑化技術研修会の実施
- ・街路樹剪定士認定研修会、更新研修会の協力

4、安全管理活動の促進

- ・安全パトロールの実施
- ・安全管理に関する各種資料の配布、講習会の案内

5、広報活動

- ・ホームページ「景」を活用した情報提供
- ・広報日造協を活用した情報提供
- ・全国造園デザインコンクールの協力
- ・会員拡大推進活動